

問1 平安時代中期以降、貴族は朝廷の儀式や先例を子孫に伝えるため、詳細な日記を書き残すようになった。このうち、藤原実資によって著され、藤原道長が詠んだ「この世をば」の歌が記録されていることでも知られる日記は何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 兵範記                      2. 左経記                      3. 中右記                      4. 小右記

問2 律令制下の日本において、都の周辺地域である「畿内」に対し、全国を広域的に区分した行政区分であり、同時に都と地方を結ぶ主要な幹線道路の呼称としても用いられた総称を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 畿内                      2. 五畿                      3. 諸国                      4. 七道

問3 縄文時代に製作された、粘土を焼き固めた人形(ひとがた)の造形物について述べた文として正しいものはどれか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 銅鏡                      2. 石棒                      3. 銅鐸                      4. 土偶

問4 古代の律令国家において、天皇の支配の正統性を示す目的などで、中国の史書に倣って編纂された一連の正史がある。舎人親王らが編纂した最初の書物から、9世紀末に成立した最後の書物に至る、これら6つの公式な歴史書の総称を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 懐風藻                      2. 風土記                      3. 古事記                      4. 六国史

問5 奈良時代の平城京において、東西に設けられた官宮の市場を監督し、価格の監視や度量衡の不正取締りなどを行った官司を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 郡衙                      2. 国衙                      3. 市司                      4. 京職

問6 天平文化期には、大陸との活発な交流を背景に、国際色豊かな文化が栄えた。聖武天皇の崩御後、その冥福を祈るために光明皇太后が天皇愛用の品々などを東大寺に献納した。これらの遺品を中心に、シルクロードを経て唐や西アジア、南アジアなどからもたらされた工芸品や、当時の公文書などが今日まで伝わっている。この宝物群を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 東大寺大仏                      2. 塑像四天王                      3. 正倉院宝物                      4. 薬師寺東塔

問7 古墳時代の集落や支配体制について述べた次の文の空欄 [     ] に入る語句を答えよ。古墳時代の支配者は、一般民衆の集落から離れた場所に、周囲を堀や柵で囲み、内部に大型の竪穴住居や高床倉庫などを配した [     ] を構えて、政務や儀礼を行ったとされる。この様子は、当時の家形埴輪などからも窺い知ることができる。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 国衙                      2. 居館                      3. 官衙                      4. 郡衙

問8 古墳時代後期にあたる6世紀になると、有力な農民層や各地の豪族の墓制において、それまでの竪穴式石室に代わり、ある埋葬施設が広く普及した。石室の側面に外部と連結する通路を設けることで、同一の石室に複数の被葬者を追葬することを可能にした、この埋葬施設の名称を答えよ。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 横穴式石室                      2. 竪穴式石室                      3. 竪穴式石槨                      4. 横口式石室

問9 奈良時代後半、孝謙太上天皇(のちの称徳天皇)の病気を平癒させたことで信任を得た僧侶の道鏡は、急速に台頭した。称徳天皇が重祚したのち、道鏡を政権の中枢に据えるために新設された、仏教的権威を背景に政治を主導するための官職を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 鎮守府將軍                      2. 紫微内相                      3. 知太政官事                      4. 太政大臣禪師

問10 飛鳥文化を代表する仏像彫刻のうち、右足を左膝にのせ、右手の指先を頬に当てて思索にふける姿勢をとる木造弥勒菩薩像が安置されている、京都に所在する寺院はどこか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 飛鳥寺                      2. 法隆寺                      3. 広隆寺                      4. 中宮寺

## 答え合わせ・解説 No.5

|     |                |   |
|-----|----------------|---|
| 問1  | 答え 4<br>小右記    | 平安時代中期以降、家職の固定化に伴い、朝廷の儀式や先例（有職故実）を子孫に伝えるための日記が盛んに書かれた。小野宮流の藤原実資が著した『小右記』は、当時の政治や社会を知るための貴重な史料であり、藤原道長が詠んだ「この世をば」の歌が記録されていることでも有名である。                                  |
| 問2  | 答え 4<br>七道     | 律令国家は、都の周辺である5国を「畿内」とし、それ以外の地域を東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道に区分した。これらは広域行政区分であると同時に、都から全国へ伸びる主要な道路（官道）の名称でもあった。   |
| 問3  | 答え 4<br>土偶     | 縄文時代に作られたこの造形物は、女性をかたどったものが多く、繁殖や生命力、豊かな生産力を祈る呪術的な意味があったと考えられている。また、病氣や怪我の治癒を祈って意図的に破壊されたとみられるものが多く、完全な形で出土することは極めて稀である。古墳の墳丘や周囲に並べられたのは埴輪であり、これとは区別される。              |
| 問4  | 答え 4<br>六国史    | 律令国家の正統性を示すために編纂された、最初の『日本書紀』から最後の『日本三代実録』にいたる6つの漢文正史の総称を六国史と呼ぶ。これらはすべて中国の史書に倣い、年代順に出来事を記述する編年体で記されている。   |
| 問5  | 答え 3<br>市司     | 平城京の東市・西市は、市司（東市司・西市司）と呼ばれる官司によって厳しく管理されていた。市司は、市場での取引や価格の平準化、度量衡の検査などを担当し、自由な交易ではなく国家による統制取引が行われていた。   |
| 問6  | 答え 3<br>正倉院宝物  | 聖武天皇の崩御後、光明皇太后は天皇の遺品などを東大寺の大仏に献納した。これが校倉造の倉庫に納められ、今日まで伝わる宝物群の起源となった。ここには、ペルシア風の意匠が施された漆胡瓶や、螺鈿紫檀五絃琵琶など、シルクロードを通じて唐や西アジア、南アジアからもたらされた国際色豊かな文物が多数含まれており、天平文化の国際性を象徴している。 |
| 問7  | 答え 2<br>居館     | 古墳時代の支配者は、一般の民衆が暮らす集落とは明確に区別された場所に、濠や柵、塀などで区画された政治的・儀礼的空間である居館（豪族居館）を構えた。群馬県の三ツ寺Ⅰ遺跡などがその代表例として知られており、家形埴輪などの考古資料からもその構造が裏付けられている。                                     |
| 問8  | 答え 1<br>横穴式石室  | 6世紀になると、朝鮮半島からの技術的影響を受けて、石室の側面に外部とつながる通路（羨道）を設けた構造が普及した。これにより、一度埋葬した後に再び入り口を開けて、家族などを追葬することが可能となった。この変化は、古墳の被葬者層が従来の首長個人から、家族や親族といった共同体へと変化したことを示している。                |
| 問9  | 答え 4<br>太政大臣禪師 | 称徳天皇（孝謙天皇が重祚）は仏教を重視する政治を展開し、寵愛する僧の道鏡を政権の中枢に登用した。765年、道鏡のために「太政大臣禪師」という特別な官職が設けられ、翌年にはさらに「法王」の地位が与えられて、政治と宗教の双方で絶大な権力を振るうこととなった。                                       |
| 問10 | 答え 3<br>広隆寺    | 京都の広隆寺に安置されている木造弥勒菩薩半跏思惟像は、右足を左膝にのせ、右手の指先を頬に当てて深く思索にふける瞑想の姿を表現している。この像は、韓国ソウルの国立中央博物館所蔵の金銅像と酷似しており、朝鮮半島との文化交流を示す貴重な史料である。   |